



姿現わす骨格

順調に進む本体工事

昨年七月に着工した文化ホール
の建設工事は、現在までのところ
ほぼ順調に進み、全工程の約四〇
%に達しています。施設完成は、
平成八年八月末の予定で、その後
備品搬入や舞台・音響・照明装置
のテストが繰り返され、十一月三
日の開館を迎える予定です。

懸案の大ホール緞帳図案につい
ては、日本画の大家、加倉井和夫
画伯の作品に決定し、既に工場製
作に取り掛かっています。また、
ピアノについては、当ホールの芸
術顧問であるピアニスト中村絃子

★大ホール

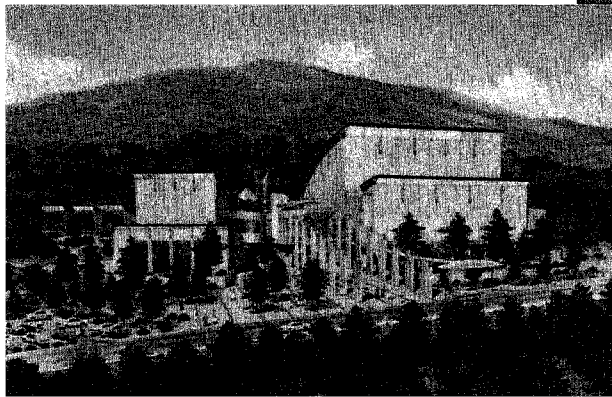
客席：ワンスロープ形式 832席
(車椅子スペース10席使用時 812席)
(オーケストラピット使用時 754席)
舞台：間口18m 奥行11.6m 高さ9m
残響：設定値 空席時2.0秒 満席時1.7秒
設備：可動式音響反射板、可動式プロセニウム
緞帳図案 加倉井和夫画伯作品採用
ピアノ スタインウェイ モデルD-274

★小ホール

客席：ワンスロープ形式・可動式 308席
(車椅子スペース4席使用時 300席)
(平土間時リハーサル室兼用)
舞台：間口12.4m 奥行5.7m 高さ5.4m
残響：設定値 1.2秒
設備：ピアノ スタインウェイ モデルD-274

★野外ステージ

客席：300席(芝生席)



完成予想図

氏のアドバイザーにより、最高級ピ
アノ スタインウェイを、中村氏
自身の見立てにより二台購入し、
大ホール、小ホールへそれぞれ設
置する予定です。



検討中／各種ソフト事業

去る九月十一日、第二回目の方
ぐいすホール企画運営委員会が開
催され、開館後のソフト事業につ
いて熱心な議論が交わされました。
その一端を掲載します。

★オーブニング事業について

十一月から翌年一月ぐらまで。
市内文化団体との利用日の調整を
十分行ってほしい。また、市民ア
ンケート調査をもとに、有名楽団・
タレント等による企画を取り入れ、
入場料は三千円以内を目安に。

★貸館事業について

利用日、料金、時間等可能な限
り利用者への便宜を図ってほしい。

★専属楽団等の養成について

市民のコーラスグループと都留
文大管弦楽団等によるベートーベ

ン『第九』演奏会を契機に、市民
オーケストラ、市民合唱団を専属
団体として育成してはどうか。ま
た、市民プラスバンドはどうか。

★楽器貸与制度

前述の専属楽団への楽器貸与の
ための基金を設置してはどうか。

★企画準備費の貸付について

ホール利用団体の企画準備経費
に対し貸付金制度を設け、資金繰
りを援助したらどうか。

★情報誌の発行について

ボランティアを募り広報委員会
方式で編集、発行してはどうか。

★文化鑑賞会(友の会)について

チケット割引、優先予約や情報
誌の郵送などの特典、学生の入会
金免除を検討してほしい。

